

【小学校算数】

本校の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

- 「数と計算」の平均正答率
・全国平均に比べ、上回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
・全国平均に比べ、上回っている。
- 「図形」の平均正答率
・全国平均に比べ、上回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
・全国平均に比べ、上回っている。

主として「活用」に関する問題

- 「数と計算」の平均正答率
・全国平均に比べ、上回っている。
- 「量と測定」の平均正答率
・全国平均に比べ、上回っている。
- 「図形」の平均正答率
・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「数量関係」の平均正答率
・全国平均に比べ、上回っている。
- 「数量関係」「図形」領域において、記述式の問題における無回答の割合が全国平均よりやや多くなっている。

今回の調査における課題

● 整数、小数、分数などの意味と表し方、計算の意味や計算の仕方などについて理解し、正しく計算すること。

● 与えられた情報から、基準値、比較値、割合などの数量関係についての的確に捉え、よく理解すること。また、その捉えた内容や判断の理由について、述べること。

● 図形や直線の性質を理解し、問題場面に活用する力。

改善の方向

○ 学年が上がっても既習の計算に何度も繰り返し取り組むことで、新しく学ぶ計算を積み上げていくことのできる土台を構築する。

○ 答えだけを求めるのではなく、答えが導き出されていくまでの「過程」を重視した指導の充実を図る。また、学習の中で互いの意見を説明し聞き合う交流の機会を多く設けることで、課題解決までの過程を言葉にし、筋道を立てて説明する力を養う指導の充実を図る。

○ 多面的な図形の見方を問題解決の場で工夫したり、新しい問題場面に活用したりする指導の充実を図る。